

保護者の皆様

上田市立第四中学校長 宮澤 好一

令和2年度 学校自己評価（最終報告）

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年度は新型コロナウイルスの関係で4月、5月が休校となり、6月の学校再開後も様々な場面で活動制限がかかりました。その中でも、試行錯誤を繰り返しながら、教育活動を行ってきました。その活動を保護者の皆さまにもアンケートにより振り返っていただきました。誠にありがとうございました。アンケートの結果を考察し、指導改善の方向を以下のように考えました。今後も生徒のさらなる成長を、教職員一丸となって支援していく所存です。今後とも保護者の皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「四中学びスタイル」の定着から、さらに主体的な学びへ。

授業の約束や時間を守って学習に取り組んでいると感じている生徒は前期、後期ともに90%を超えて、全校で取り組んできた「四中生学びスタイル」が定着し、成果をあげることができたといえます。授業の分かりやすさについても80%の生徒が概ね良好と答えています。ただ、考えたり、発表したりという活動について、例年よりも低い数字でした。コロナ感染予防のためグループ活動が制限されたり、例年より少ない登校日数による影響も多少なりともあったりしたのではないかと思います。今年度からはじまった、単元テストについては、生徒、保護者とも50%にとどまり、まだまだ改善の余地があると考えております。四中クリエイティブタイムについては、80%近い生徒が主体的に取り組めたと回答しており、生徒会から提案した企画や活動の成果がでていていると思います。

今後も、四中アカデミー（放課後学習・長期休業中の学習）や四中クリエイティブタイムなど生徒が主体的に活動ができる場面を仕組んでいきたいと思っております。



「コロナ感染症予防対策」への取り組み。

今年度は、1年通して「コロナ感染症」に対する予防対策を、教育委員会と連携しながら、できる限り行ってきました。健康チェックシートの活用、手指の消毒、マスク着用、教室の消毒、換気はもとより、状況に応じて、休校措置、分散登校、分散授業、リモートによる集会、登校時における、玄関前の健康チェックを行いました。生徒、保護者の皆様にもご協力いただいた結果、「毎日の検温、消毒、手洗い」について生徒が97%、保護者94%と年間通して自己管理、感染防止の徹底に努めていただきました。卒業式、入学式でも、密を避けるため、例年と変更して行いました。

来年度もコロナ感染症予防のためのご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



学校へ行くのが楽しみ。

学校へ行くのが「楽しみ」と回答した生徒が前期、後期ともに80%程度で、概ね良好と思われる。楽しみにしている教科（授業）があると回答している生徒もおおよそ84%おり、多くの生徒が学校生活に楽しみや、やりがいを感じている実態も伺えました。前期はコロナ感染症予防のため、約2ヶ月間の休校があり生活リズムの乱れから、学校へ行くのが面倒になった生徒もいたようです。また、逆に早く学校へ行きたいという生徒も多く見られました。後期は、さまざまな学年行事が延期、中止になる中、学校祭や生徒会の企画、修学旅行（代替旅行）、3年生を送る会等、生徒が主体となって楽しめる活動もできました。

来年度も、できる限り、生徒のやりがいや楽しみをもち、学校生活を送れるよう取り組んでいきます。



「自分の良さ」や「友の良さ」を理解し、自己肯定感を養う。

概ね達成できたと回答した生徒が前期、後期を通じて8割に達しています。生徒間で友の良さを理解し、良好な人間関係を築こうとしてきた様子が伺えました。保護者に関しては、前期に比べ3%程度アップしております。日頃からの取り組みが評価され、少しずつではありますが、全体的に浸透してきていることが伺えます。これからも、生徒の良さを積極的に本人や保護者の皆様に伝えていくことができるよう工夫を継続し、今まで以上に生徒の自己肯定感が高まるような指導を続けてまいります。



「(心に)届くあいさつ」ができている。

「あいさつ」について、できると回答した生徒は、前期、後期通じて80%程度と概ね良好でした。「挨拶」については、生徒会や部活等でも、大切な事として取り上げられ生徒の中でも意識は高いと思います。昨年度と比べると「挨拶ができる」割合は上がっており、「四中生のあいさつが良くなってきた」という地域の方からの声もいただいております。さらに、「自分から進んで」挨拶ができる生徒が増えていけるよう取り組んでまいります。今後も引き続き人と人の基本的なコミュニケーションとしての大切さを指導しながら、生徒の心を育てる教育を充実させていきます。学校でも取り組んでまいりますので、ご家庭でも、生徒が進んであいさつができるような声かけをお願いします。

